

会 議 録

会議の名称	第2回上尾市市民活動推進協議会	
開催日時	令和5年6月28日(水) 午後1時15分～午後3時	
開催場所	市民活動支援センター	
議長(委員長・会長)氏名	竹井潔会長	
出席者(委員)氏名	竹井潔委員、若原幸範委員、安藤由美委員、丸山広子委員 石井清二委員、清水さえ子委員、西嶋秋人委員	
欠席者(委員)氏名		
事務局(庶務担当)	秋山真吾市民生活部次長、山中幸二市民協働推進課長、 山崎聡市民活動支援センター所長、吉澤昌代主任、 菅谷良樹、大貫明美、井上枝里子	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	①協働のまちづくり推進事業第2次審査について ②協働のまちづくり推進事業補助金の追加募集について ③第3回協議会について	①3事業が採択 1事業が条件付き採択 ②承認 ③承認
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 なし
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング事前質問票（回答）一式 ・文部科学省 COCOLO プランのパンフレット ・協働事業（追加募集）の審査スケジュール（案） ・第4次上尾市市民活動推進計画スケジュール（案） 	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>2023年9月3日</p> <p style="text-align: right;"> 竹井 潔 _____ 議長（会長）の署名 </p> <p style="text-align: right;"> _____ 議長に代わる者の署名 （議長が欠けたときのみ） </p>		

議事の経過

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>本日は、お忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。 ただいまより、第2回上尾市市民活動推進協議会を開催いたします。 本日は、5月24日に開催した第1回協議会におきまして、協働のまちづくり推進事業 第1次審査を通過しました4事業について、各団体からのヒアリングを行い、第2次審査をお願いいたします。 それでは、事務局の方から資料の確認をお願いします。</p>
事務局	<p>会議に入る前に、お手元の資料の確認及び準備をお願いします。</p> <p>①第2回上尾市市民活動推進協議会 次第 ②配布資料目録 ヒアリング事前質問票（回答）⇒各団体ごと差替え資料 ③第1回上尾市市民活動推進協議会資料のファイル（緑色ファイル） ④「COCOLO プラン概要」文科省 HP から ※A 団体の回答 ⑤協働事業（追加募集）の審査スケジュール（案） ⑥第4次上尾市市民活動推進計画策定スケジュール（案） 以上でございます。</p>
事務局	<p>本日の会議は、上尾市市民活動推進協議会条例 第7条の2「協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。」の要件を満たしていることを、ご報告いたします。 それでは、次第に沿いまして進めさせていただきます。 はじめに会長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。</p>
会長	<p>（会長 あいさつ）</p>
事務局	<p>ありがとうございました。これ以降の進行は、協議会規定により、会長にお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、私の方で進行してまいります。ご協力よろしく申し上げます。 本日の会議は公開となっております。 事務局に確認しますが、本日傍聴希望者はいますか。</p>
事務局	<p>本日、傍聴希望者はありません。</p>
会長	<p>それでは、次第の3に入りたいと思います。進め方につきまして、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日のヒアリングの進め方について、ご説明申し上げます。 このあと、第1次審査会を通過いたしました3団体からヒアリングを行っていただきます。 ヒアリング順と割り振り時間につきましては、次第4にありますように、</p>

	<p>「一般社団法人こどもとおとなのあそびとたいわ」が13時25分から、1団体15分で進めていきたいと考えております。時間配分については、最初の3分は団体からの事業PR、次にヒアリング質疑応答を10分、そして残りの2分で発表団体の交代、準備を行っていただきます。タイムキーパーは事務局で行い、その都度合図をいたします。</p> <p>第2次審査は、最後の「さいたま断熱改修会議上尾支部」のヒアリングが終わりましたら、議題(1)の第2次審査の審議を開始していただきます。事前に配布しました資料の「ヒアリング事前質問票」などを参考資料として、ご利用ください。進め方の説明は、以上です。</p>
会長	<p>それでは、事業を採択するのにふさわしいかどうかと言うことで、ヒアリングを開始いたします。</p> <p>それでは「一般社団法人こどもとおとなのあそびとたいわ」さん、事業PRを3分以内でお願いします。</p>
T氏	「街の止まり木@アトリエコルト」事業PR
会長	<p>ありがとうございました。続きまして質疑応答に移らせていただきます。委員のみなさま、何か質問がありましたらお願いします。</p> <p>==質疑応答==</p>
A委員	<p>昨年は市内の全小中学校への告知ができたようですが、提案として例えば小児科や精神科等へチラシを配るのはいかがでしょうか。</p>
T氏	今年度はそうして広げたいと思います。
B委員	このCOCOLOプランのどの部分にあたりますか。
T氏	保護者の会やフリースクールに近いものに該当するかと思います。
会長	消耗品費ですが各回常時8人くらいが平均ですか。
T氏	<p>現在毎回来ている子が6人。不登校のお子さんは不安定なので変動が大きく読めないのですが、現状Max8人くらいです。</p>
C委員	<p>昨年トークセッションが好評だったようですが、どのくらい規模感のイメージしたか。</p>
T氏	<p>文化センターの小ホールを予約してしまったのですが、100人ほどしか入らなくて、概ね3倍くらいの応募はありました。映画自体が人気であったというのがありますが、トークセッションまで残って聞いてくださったり、ご意見をくださる方もかなり多かったです。</p>
C委員	<p>昨年度から引き続き通っている子はいるのでしょうか。</p>

T氏	現在4人います。来始めた子が2人。新規の問い合わせも数件ありますが、なかなか来られなかったり、親の会だけだったりしています。少し余裕を持った運営が必要かと思っています。
会長	他にありますか。では終了といたします。 ==団体退席== ※団体着席「NPO法人ふれあいねっと」
H氏	==事業PR==
会長	ありがとうございました。続きまして質疑応答に移らせていただきます。委員の方から何か質問ありますでしょうか。 ==質疑応答==
C委員	チラシは月1回のペースで出すのですか。
H氏	助成金が出ればチラシもいけるのですが、出なくても近隣の小学校2校と中学校1校にはチラシを配ってやるよと呼び掛けています。びっくりしたのが、広報あげお6頁、「わがまちいいとここんなどこ」に載っていました、宣伝になりました。
D委員	去年は音楽を中心に、今年は本をとテーマにしてらっしゃるのですが、ひとつひとつのテーマをされた後の結果についての調査はなさっているのですか。
H氏	統計を取るとかではないのですが、毎回毎回いろいろな人とお話をする中で、例えば去年の音楽の場合、出てくださいと言ったわけでもなく、意外にやりたがる人はいたんだなということがわかったということです。発表する場がコロナでなくなったということもあると思うのですが出てくださるという効果があったということです。また、出ることによってその場にいる方々とのつながりが深まっている様子があり、また子どもたちも気軽に触れ合っているなということで自発的になられた、また団地のお年寄りたちも冥途の土産に出てもいい。と言ってくださって、みなさん能動的にかかわってくださって、私たちも予想していなかった効果がありました。
会長	講師謝礼15万円の中で30分5千円は演奏する人ののですか。
H氏	去年は音楽ということだったのですが、今年は10月に割と有名な「パパ's 絵本プロジェクト」という団体さんが本に関わるライブをしてくださる方に、規程の最低限をお支払いしていくなど、去年は案外と出てしまったので今年も見込んでみたということです。
会長	事業の継続性ということを考えると、次年度以降こういった講師料とか結

	構大きいので、演奏料無料でも演奏場所を提供するということがあったらいいと思います。
H氏	大学や高校に呼びかけたらもしかしたらいるかもしれないです。
会長	毎月やるというのはスタッフの方も準備が大変だと思いますが、継続していい事業です。
H氏	ボランティアの人が大変じゃないようにゆるゆるでやっています。
B委員	「こどもとおとなのあそびとたいわ」さんの不登校の子どもが「ふれあいねっと」さんの広場で遊ぶとか、そんな大きな流れができるといいなと感じました。
H氏	上尾の端っこなので、他の団体さんなどに声掛けはしていなかったのですが、チラシを置かせていただくことができ、来ていただけたらいいです。
E委員	とても素晴らしい取り組みを継続的になさっていていいなといつも思っております。素晴らしいところが、月1回でも力を入れないで出来る範囲でということで、これなら他の地区でも取り組めそうだなと感じておりまして、市内自治会沢山あるのですがいろいろな行事ができないできないとネガティブなのです。でもこういう活動をご紹介いただけたら、地区の連合会の方にこんな風に力を入れなくても出来ますよとアドバイスいただけたら、市内でもこういう動きが広まるのかなと思うので、今後ともお力を借りたいと思います。
H氏	遊びに来ていただけたら、こんな感じですからってことがわかっていただけるとと思います。
E委員	自治会の人たちに情報を提供しないと、みなさん腰が重くてなかなかいかないのですが、見に行こうよという動きが作れたらいいなと思います。
H氏	呼んでいただければ時間があればお話しにも伺います。
会長	それでは、お時間となりましたのでこれで終了とさせていただきます。 ==団体退席== ※団体着席「認定NPO法人彩の子ネットワーク」 ==事業PR==
K氏	
会長	ありがとうございました。続きまして質疑応答に移らせていただきます。委員の方から何か質問ありますでしょうか。

== 質疑応答 ==

E 委員	大変すばらしい事業で、長い間上尾市の中で赤ちゃんを持ったお母さん方を支えてきてくださった彩の子ネットワークさんで、特に子ども服交歓会ってリサイクルではなくて、子どもが喜んでやるという発想をもったところが素晴らしいとあっていつも応援しているのですが、こういう素晴らしい事業って協働事業が終わった後に継続して市が市の一環として予算を出すことができないのかなって思っていて、なかなか新規事業ができないってわかっているのですが、子育てとか子ども支援というのを大切に思っている中でなんとかこういう素晴らしい団体を応援するという方向にはいかないのかなといつも思っている次第です。
会長	資金が大きな課題で、来年以降この事業を継続していくためには、市がどう考えるか、彩の子ネットワークさんの方で協働しながらいかに資金を確保していくか、その資金繰りもこの1年でぜひ検討していただきたいです。
K 氏	なくさないように私どももなんとか考えていくつもりですが、市の方も動いていただけるとありがたいなと思っています。年間で70万くらいあるとボランティアのみんなでそれだけのことができるなと思っていますので、よろしくお願いします。
会長	去年は確か銀行でしたか。
K 氏	はい、いくつか応援してくださる企業さんもありますし、聖学院大学さんにもお願いしましたし、今年は今年なりで応援していただけるように確保し始めてはいますが、ここの35万円があるかないかでとても大きいので来年はとても大変だなと思います。ベースに市が持っていたら本当にいいのになと思います。これだけの事業はなかなかないのではないかと思っていたらありがたいです。ボランティアの人たちのコミュニティもとてもいい形ができてきていて、生まれてから亡くなるまでの人たちがそこにいて、出来ることを少しでもやるという社会参加の機会が持てる、病気で動けない人が風呂敷を作ってくれるという申し出があったり、4才の子が撒収に活躍したり、色々な世代が関わってお互いが声を掛け合えるという場に育ってきています。子どもたちが活躍している様子や、30代の人と17才が話している様子の写真を用意してきました。
会長	これはSDG'sの視点でも大事ですし、事業の内容はとても素晴らしいと思っています。この事業をなくさないために協賛企業を探したり、コストダウンする創意工夫をしたり、自立の道を探していくところも今年度やりながら考えていただけたらありがたいなと思っています。
E 委員	彩の子さんができてもう30年近くなりますか。
K 氏	24年です。
E 委員	この間愛育班の方が彩の子さんを知らなくてびっくりしたのですが、これ

	<p>だけ頑張ってやっているのに浸透していないんだなということを知って、市を通じてもっと応援していただき、後押ししていただけたら、潰すにはもったいないので。</p>
A 委員	<p>支出で多いのは、会場費や運搬費なので、会場費だけ持ってもらえませんかとか企業や市などに働きかけるといのはいかがな感じなのですか。</p>
K 氏	<p>企業は広告協賛という形でいただいている、そういう形が企業さんは出し易いことだと思います。</p>
会長	<p>支出で大きいところを減らすためにはどうしたらいいかというアイデアをみんなで話し合っって検討をしていただければと思います。</p>
K 氏	<p>予約が取りやすくなったり、広報あげおに出してもらえたり、協働のいいところがたくさんあるので、協働から外れても一緒にやってもらえたらいいなとお願いしたいところです。</p>
会長	<p>時間ですので、終わりたいと思います。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">== 団体退席 ==</p> <p style="text-align: center;">※団体着席「さいたま断熱改修会議上尾部会」</p>
S 氏	<p style="text-align: center;">== 事業 P R ==</p>
会長	<p>ありがとうございました。続きまして質疑応答に移らせていただきます。委員の方から何か質問ありますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">== 質疑応答 ==</p>
F 委員	<p>断熱工事を実際にしてデータを取って実験するというのですが、こういったデータは既に住宅メーカーや研究機関で提供していると思いますが、敢えて上尾市でやる意味というのはどういうことなのかがひとつ。もう一つは実験の器材を1セット購入するようですが、実際の被験者を何名求めようとしているのかを伺いたい。</p>
団体	<p>購入予定のサーモカメラは、温度変化・断熱効果を可視化するためのもので、温度測定器も併せて継続的に使用する必要があるので最小限の設備は整えておきたい。また既にデータがあるのではないかですが、実はそんなにはないのです。新築については各ハウスメーカーが沢山研究しています。既存住宅はいろんなパターンがあります。ハウスメーカーが作るもの、地元の工務店が作るもの、年代の違いなど、一元化できないです。今顧問として東京大学の真之准教授という方がいらしてその方と4年間研究をさせていただいています。先日もさいたま市の小学校で改修工事をし、Before After のデータを取りました。非常にいい結果で全国で初めて学校建築の断熱改修シンポジウムを開催し、全国的に千人くらいの沢山の方に見ていた</p>

	<p>だき、色々な活動をこれからもしていきます。今後ゼロカーボンシティ上尾として既存住宅を温かく涼しくすることは重要でエネルギーを少なくするために、今後補助金とかを考えていかなければいけない。市民に説明するためにも上尾市で取ったデータは非常に貴重だと思ひまして提案させていただきました。</p>
E委員	<p>今回は何軒データを取るつもりですか。</p>
団体	<p>希望では5軒です。そのためにもセミナーを開いて、こうすれば暑さを防げるのだというちゃんとした情報を伝えたい、国が補助金を出しているが知らない人が多すぎる、そういう情報もちゃんと教えていかないといけない、それが我々の使命だということです。</p>
E委員	<p>機材は1セットの購入で足りるのですか。</p>
団体	<p>足りないと思います。ただ予算の範囲の中でやっていきたいと思います。</p>
会長	<p>5軒で説得性のあるデータが取れるのかということですが、既存の設備ですとかなりの条件とデータを取らなければいけない、5軒くらいでは説得性のあるデータを提示するのは難しいと思います。</p>
団体	<p>もちろん5軒では汎用的なデータは難しいかもしれませんが、新築や既存の経験則もあります。上尾市の5軒でこういう場合はこう当てはまるというノウハウ的なものが目の前に展開できる、そうすると地元の工務店さんたちにこういう形でやったよとお知らせできますので、数として完璧なものを揃えるというよりも、実際それで動くということの方が効果が大きいのかなと思います。</p> <p>データとしては我々もいっぱい持っています。先生も持っていますし、全国の工務店も持っています。</p>
会長	<p>そのデータがあるのであれば、たかだか5軒程度のものを取るよりもそれを使い示していただければいいのではないですか。</p>
団体	<p>上尾市のリアルなデータは、市民に説明するのに重要だと思います。</p>
会長	<p>既存の建物に断熱の工事をするとどのくらいの費用が掛かるのか、高齢者が断熱の改修工事をする余裕があるか懸念があります。</p>
団体	<p>全国的には寒さ対策の断熱というのは多く、そのデータは沢山ありますが、暑さ対策・遮熱対策ということになると少ないのではという気がします。埼玉県の上尾市・熊谷市など日本で一番暑いところですから、住宅でいかに太陽熱を入れないようにして守るかというのは大変重要なことだと思います。10年前と比べて最低気温は殆ど変わりませんが、最高気温は3~5度上がっている。それを今までよりちょっと暑いね程度に済ませていると家の中での熱中症になったりなど健康に大きく影響しますし、快適性ということでもかなり違ってきます。そこのところをセミナーで訴えましょうと、</p>

	<p>その中でやってみたいという人が5軒くらいあればいいねというのが最初の話です。その人たちだけで上尾の全体を語ろうとは思っていません。あくまでも今回は啓蒙活動、そうした上で次に今度はそういったものを1年通して、暑さ対策・寒さ対策などを継続してやっていく上で、次に仲間を増やしましょう、ということで我々のような業者をもっと広めて、上尾市全体でもう少し動きが取れるように、そうすればもっともっと上尾市全体が、動くことになりまますし、地域の経済の活性化にもつながります。あくまでも啓蒙活動の入口として捉えてもらうといいです。我々だけで全部できるとは思っていません。上尾市の方と含めて皆さんと一緒にやっていくということを考えています。</p>
D委員	<p>企業と行政と市民とが連携して今の課題を解決することはとても良いことだと思います。今回のお声かけは企業さんの方から行政へなされたのでしょうか、それとも行政の方から企業さんを選んでなされたのでしょうか。</p>
環境政策課	<p>双方になります。</p>
団体	<p>上尾市もゼロカーボン宣言をしていますし、市に貢献したいと思っています。その打合せを今年の3月にさせていただきました。</p>
D委員	<p>上尾市に出向かれたということですね。既に広報にセミナーの案内が出ていますが、今回の協働事業で行うことのメリット、先ほど啓蒙活動とおっしゃっていましたが、そのポイントはなんだと今お考えですか。</p>
団体	<p>今回の活動は講演という形で環境政策課からお声をいただいて、セミナーでもできればというお話が最初にありました。講演だけでなく市と一緒にやっていく、その成果を市の施策などに反映していく、市が今ゼロカーボンのための計画作りをやっているの、タイアップしながら具体的な市の施策と結びつけられていくということが大きな成果となってくる、それが協働のまちづくり推進事業の事業者も入ってやるというところの大きな成果です。</p>
会長	<p>環境政策課のゼロカーボンを目指す政策にあっていますが、そのうちの一つの施策にしたいのか、それともそれをメインでやっていきたいのか。</p>
環境政策課	<p>当市も令和3年7月にゼロカーボンシティ宣言をしてカーボンニュートラルを目指していくという中で、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を改定して国と同様に2013年度と比べてCO2を46%削減しようと考えている中で、太陽光発電がメインになってくるのですが、それだけでは達成できない。太陽光というのは新築住宅に多いのですが、既存の住宅で何ができるかと考えた時に、市としても断熱化が効果があるということで全面的に施策を打ち出していきたい、そんな時にこちらのさいたま断熱改修会議さんの話を聞いて、市としてもデータが不足していて市民の方に説明するためには確かなデータが必要だということで、しかもデータだけでなく、断熱によって健康に過ごせるようになるという目的も夏に快適に過ごせるというのも大事な目的、さらにCO2の削減、電気代が安く済むなどいろいろ</p>

	な効果があるので、市としても是非とも協力して一緒にやっていきたいというのが、市の考えです。
会長	太陽光、断熱材、他にも何かあるのですか。
環境政策課	蓄電池、照明 LED 化、省エネ家電などいろいろな施策がある中で、断熱改修が重要な施策のひとつと考えています。
会長	重要な位置付けということはよくわかりました。ただ、モデル断熱改修の実施が本当にできるのか、実費を協力者負担と書いていますが、協力者が出てくるかどうか。
団体	住めないくらい熱い部屋を涼しくできるとしたらどうですか。例えば太陽光とかエアコンは10年20年くらいで壊れますが、断熱は一生持ちます。そういうことを啓蒙していかないと余計なお金を使ってしまう。
会長	断熱材のあるなしで、CO2が大分変わってくるのでしょうか。
団体	CO2 よりまず健康、おまけに CO2 がついてくると考えていただいた方がいいと思います。
A委員	担当課にお聞きしたいのですが、第3次環境基本計画の改定が今年度末で、今年度のデータをどのように盛り込むのでしょうか。
環境政策課	計画の中に断熱改修などの施策を盛り込んで今年度改定はするのですが、具体的にはその後に市民の方にご提示できるように施策を今ちょうど考えているところです。担当者の検討会を開催して環境審議会などを設置してちょうど施策を考えているところです。
A委員	計画や施策を作る時にサンプル数はある程度一定の数が欲しいですし、住民を説得するにはある程度のサンプル数がないと難しいじゃないですか。では、まだそちらも入口ということですか。
環境政策課	まだ施策を考えている段階です。
E委員	一消費者として断熱をやってみたいし、断熱の大切さもわかる、ただ日々あまりにも悪徳リフォーム業者に囲まれていて、業者に対して信用度が今ゼロなんです。このセミナーを開催する時に、上尾市が共催で上尾市がお墨付きですよとして広報でやってくれれば行こうという気になるのですが、断熱改修会議さんだけで開催してしまうと私は怖くて行けないです。
団体	既にさいたま市でセミナーをやっています。その講演は国交省、経産省、埼玉県の後援をもらってやりました。今回は上尾市が主催でやる形をとっています。
E委員	データを取って上尾市の施策としてやっていただくなうれしいので、ぜ

	ひ行政が全面的にバックアップしてやってほしいです。
C委員	市民からするとやはり悪徳業者だといけないからというところが不安だろうし、モニター募集して、少ないかもしれないけれどデータを取りたいのですというところを環境政策課が前面に立てるかどうかわからないかと思えます。ゼロカーボン宣言をした中での上尾市としての環境政策の考え方が問われているんだと思います。
環境政策課	住宅リフォームの瑕疵などが沢山あるということはわかっていますので、協働の事業ということで市の方でもちゃんと主旨を説明して、市民の方に安心して断熱改修していただけるように市も考えていきます。
A委員	水道のような指定業者とも違う仕組みですか。
団体	まだ、そういう仕組みがない。断熱改修は技術的に難しく、年代によって作り方が違うので、技術者がどこを押さえたらいいのかということを知っていないと失敗してしまう。そういう事例は起こしたくない。そのためには例えば将来補助金が出るとすれば、その条件として、しっかり講習会を受けて登録された業者であることが必要になってくると思います。これから作り上げていかなければならない、そうしないとゼロカーボン宣言がいつまでたっても遠いものになってしまいます。その中のひとつに断熱改修というものがあります。5軒程度で本当にできるのかという話ですが、パターンとして屋根だけ断熱改修したらどうなのか、窓だけやったらどうなのか、一部屋だけやったらどうなのか、一階だけやったらどうなのか、全体やったらどうなのか、パターンごとにこんな風な効果が出ました。これが例えば50万で出来ました、300万で出来ましたと話したら、そこで次の人たちがうちはこのパターンで300万くらいが目途でいいと話がわかればやりやすくなるだと思います。それをしない限り進んでいきません。今から30年くらい前に建てられた建物は断熱材が入っていません。気密ということで1軒分の面積にすると新聞紙1枚広げたくらい隙間があります。熱がこもりづら分だけ暑さも寒さも入ってくる状態なので、生活をしている人に合わせて改修していけばいいんじゃないか。ですから1棟丸々1500万かけて改修しましょうなんてことは考えません、あくまでも相手の要望に合わせて話しを進めていかないといけないと思います。
B委員	環境政策課が出て来られたということは推進したいということなんでしょうけれど、なぜ上尾市協働のまちづくり推進事業に提案されたのですか。一旦この補助金をもらっておこう、今後は環境政策課の方で国からまた支援が来るのだから見据えてやりますよとか、大きな方針があってもいいのかなど。その辺はどうなのでしょう。
環境政策課	この事業をきっかけとして、市民の方に安心して断熱改修やっていただくための足ががかりにしたい。1年2年で終わる話ではないので、まず2030年にゼロカーボン46%、2050年にカーボンニュートラル実質0と、そういう動きの中の最初のスタートを気持ちよく切って今後につなげたいと考えている。長いスパンでやっていきたいと考えています。

	<p>また、計画の改定の時期と来年度に国に補助金を申請するという時期が重なったというのがありますが、スタートだけではなくてこれはずっと続いていくものです。環境政策課として断熱改修の施策を推進するのは継続して行うものと考えています。</p>
C委員	<p>ここの団体を支援したいというのが環境政策課にあるかどうか。</p>
環境政策課	<p>断熱改修会議さんと協働して、引き続き今後も行っていきたいと考えています。</p>
団体	<p>環境省が国を挙げてこれからどういう風に断熱改修を進めていくかという仕組みづくりを考えていますので、そういったことに繋げるために上尾市がこういうのもひとつのきっかけになり得るということです。</p> <p>市として仕組みづくりをしてからでは遅くなるので、とりあえずこんな風な形で先に進めさせていただきませんか、という考え方で受け止めてもらえればいいかなと思います。</p>
会長	<p>環境政策課さんがしっかりとした道筋・方針を立てて2050年に向けてどうすることが必要か、どういうことをやらなければいけないのかということです。今回、広報の面だけだったらセミナーの開催ぐらいでいいのかもしれないと思ったのですが、データ取りなどは中途半端に終わらないかなと、むしろセミナーの開催とか今までのデータを示して啓蒙活動し、その後ってことになってくると思うのです。</p>
団体	<p>その通りですが、暑さ対策のデータは意外と少ないです。</p>
会長	<p>今回は10月か11月に断熱工事で、データ取りは冬にしか提示されていないですが。</p>
団体	<p>今年度は冬のデータで、来年も継続して同じお宅でデータを取らせていただきます。</p> <p>早めに手を挙げていただいてやろうということならデータは先に取りますので、それを含めてやらせていただければいいのかなと思います。</p> <p>上尾市で既にずっと工事をさせていただいていまして、今年の夏も国から補助金が出ているので断熱工事をやっています。当然データは取っています。</p>
会長	<p>そういうデータを使っただけであればいいことなのかなと思います。</p>
団体	<p>セミナー等にはどんどん使っています。</p>
会長	<p>そろそろ時間ですので、他にありますか。</p> <p>ないようなので、ヒアリングしたことを踏まえて検討したいと思います。</p> <p>これでヒアリングを終わっていただきます。お疲れ様でした。</p> <p>続きまして、議題の5(1)協働のまちづくり推進事業第2次審査に移ります。事務局から審査方法の説明をお願いします。</p>

事務局	<p>協働のまちづくり推進事業第2次審査について、ご説明申し上げます。今回の第2次審査は事前配布しております「審査の基準」及び「ヒアリング事前質問票」、それと本日のヒアリングを参考にして各提案を審議していただき、採択の可否を挙手にて決定していただきたいと思います。</p>
会長	<p>それでは、第2次審査の採択事業を決めたいと思います。 1番目のこどもとおとなのあそびとたいわの「街の止まり木@アトリエコルト」事業についてご意見はありますか。 特にならぬようなら、採択の可否を決定いたします。採択の方は挙手をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">==全員挙手==</p>
会長	<p>採択と決定いたします。 2番目のNPO法人ふれあいねっとの「青空ひろば本のある居場所」事業についてご意見はありますか。 特にならぬようなら、採択の可否を決定いたします。採択の方は挙手をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">==全員挙手==</p>
会長	<p>採択と決定いたします。 3番目の認定NPO法人彩の子ネットワークの「子ども服交歓会で子育て支援のまちづくり事業」についてご意見はありますか。 特にならぬようなら、採択の可否を決定いたします。採択の方は挙手をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">==全員挙手==</p>
会長	<p>採択と決定いたします。13:46:54 では4番目のさいたま断熱改修会議上尾部会のゼロカーボンを目指す健康で快適な住まいづくり推進活動についてご意見はありますか。</p>
C委員	<p>こちらは、もうちょっと審議が必要かなと思います。条件付きで採択という気がします。 啓発活動まではいいと思いますが、事務局と環境政策課とでよく話し合っ てほしい。</p>
会長	<p>今のご提案、もう少し審議してもらいたい。条件付きというのは、啓蒙活動のみという形での採択はどうかということですが、いかがでしょうか。他にご意見ありますか。</p>
B委員	<p>環境政策課が責任を持って、2050年ゼロカーボン実現できるように筋道を作っていただく、というのが前提です。</p>
A委員	<p>啓発活動だけとしたら補助金はどのくらいかなと、協議の材料として、備</p>

	品購入費が減額されるということ、それも含めて協議していただいても構わないです。
事務局	備品購入費を除くとのことですが、この備品というのは据え置き型で、何ヶ月間かの記録式の温度計を主に言っていると思います。母体の方で持っている備品は基本的に使えない。そこは認めてあげた方がいいのかなと思います。冬場の1回目は記録式赤外線温度計は使えると思いますし、来年もやるとしたら冬に2年間分のデータが取れる。夏は初回からできるということになると思います。
会長	備品を認めないということは条件付きで啓蒙セミナーだけ。赤外線カメラ温度計を購入してデータ取るのは対象外ということですか。 いずれにしても備品購入してデータ取りは冬難しいと思います。協力者を選ぶにも時間かかるし、工期もかかる。今年は外した方がいいかもしれない。協力者謝礼はデータ取りの謝礼なので10万円もいららないです。
C委員	その辺も含めて事務局の方で、もうちょっと検討してもらいたい。
B委員	この条件とはなんですか。環境政策課が継続して支援をしていくことですか。
会長	それも含めて検討しましょうか。環境政策課が主導で責任を持って行う。
B委員	お金の話は環境政策課を前提にしたいと思います。
会長	環境政策課の方で予算が取れるのであれば、いいですが。ヒアリングでやりたいってことは確認しました。
事務局	環境政策課もそういうことで来ていると思います。そこは認めてあげて、いろいろ条件として入れることに対してはよろしいのかなと思います。その上で今回条件付きで採択します、それはセミナーの部分ですと、ただ備品などはセミナーに本当に関係してますよというのが現段階ではっきりしていないので、そこについては改めて環境政策課と検討し直した上で、採択するとしたらどうでしょうか。
会長	そういうことでよろしいですか。今回、採択・不採択でなくて、条件付き採択の部分をちょっと調整していただくことにします。
C委員	事務局で条件付き採択部分を調整します。その調整は金額になってくるかと思いますが、そちらについては改めて提案します。
会長	では、改めて条件を調整していただければと思います。よろしいでしょうか。第2次審査については「こどもとおとなのあそびとたいわ」採択、「青空ひろば～本のある居場所」採択、「子ども服交歓会で子育て支援まちづくり事業」採択、「ゼロカーボンを目指す健康で快適な住まいづくり推進活動」はもう少し条件をきちんと審議してもう一度提案していただくという形

	<p>で、条件付きで採択にします。環境政策課の方は 2050 年までゼロカーボンの施策をやりたいという意志は今回確認しました。</p> <p>では、議題(2)の協働のまちづくり推進事業補助金の追加募集について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>別紙「協働事業追加募集の審査スケジュール（案）」をご覧ください。本日の協議会での決議により、今年度の協働のまちづくり推進事業は 4 事業が採択（条件付き含む。）されました。残念ながら当初の予定より事業数が少なかったため、今年度提案を検討していた団体に再度声掛けをするなどして追加募集を行う予定です。なお、追加募集の提案があった場合は、書面審査で行いたいと思いますが、委員の皆様ご協力をよろしくお願いいたします。スケジュールについては以上です。</p>
会長	<p>何かご質問ございますか。</p>
B 委員	<p>追加募集は審査が書類審査なので、事務局の方で徹底してやっていただけるのありがたいと思います。</p>
会長	<p>ではよろしいでしょうか。続きまして(4)その他についてです。事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>本日、採択された協働事業につきましては、各事業の進捗状況、事業の開催予定等を随時、委員の皆さんにお知らせいたします。ご協力よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>以上で、すべての議事が決しました。進行を司会にお返しいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、副会長から閉会のごあいさつをいただきたいと思います。</p>
F 委員	<p>（副会長 あいさつ）</p>
事務局	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、第 2 回上尾市市民活動推進協議会を閉会いたします。</p>